

# 「サニ太くん」黄色ブドウ球菌用発色特徴

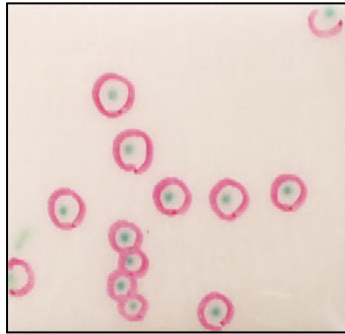
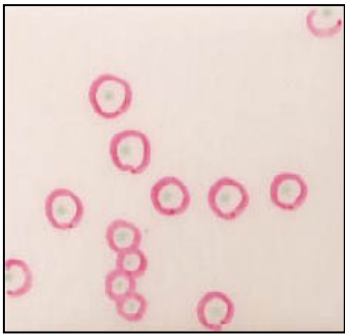
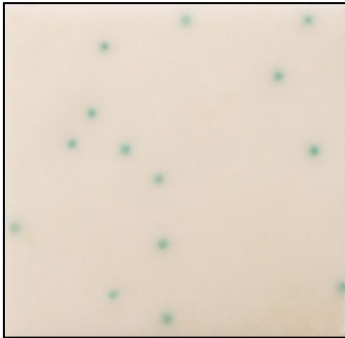
2003年1月作成  
チツソ(株)ファインケミカル部

## 黄色ブドウ球菌による発色

35°C30時間以上の培養条件で、明瞭な青緑色、中程度大(1mm程度)の円形状スポットとなります。  
(写真は培養40時間後の黄色ブドウ球菌の発色スポット)

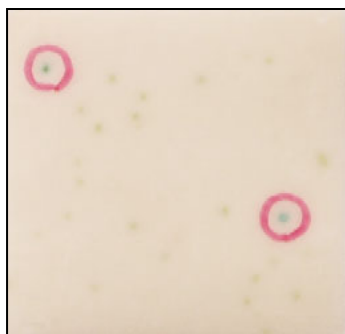
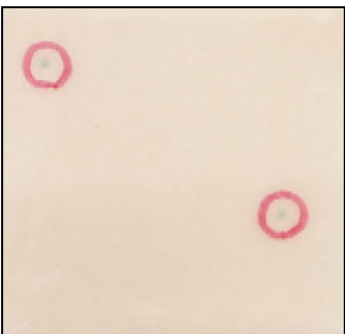
### 検査方法

35°Cで24時間培養し、黄色ブドウ球菌らしき発色スポットをマーキングします。  
(24~26時間培養後で発色が見られないようであれば陰性です。)更に6~16時間培養後マーキングした発色スポットについて上記のような特徴を示す発色スポットであれば黄色ブドウ球菌による発色スポットと判定ください。  
※黄色ブドウ球菌の確定には、純培養後生化学的な確定試験を行ってください。



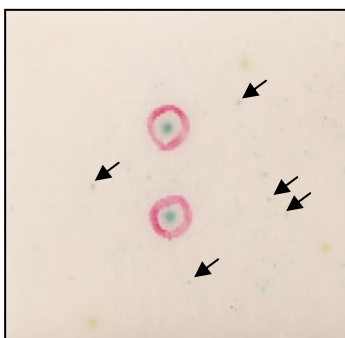
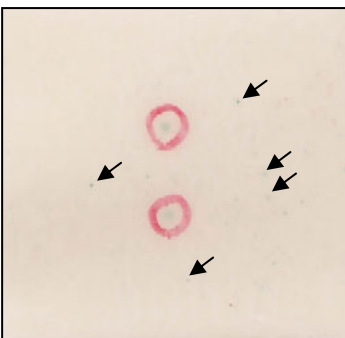
### 黄色ブドウ球菌の発色経過状況

- ・左写真は24~26時間培養後の写真です。この培養時間での黄色ブドウ球菌の発色特徴は青緑色、中程度円形状スポットになりますが明瞭ではなく薄い発色スポットとなります。
- ・右写真は更に6~16時間培養後の黄色ブドウ球菌発色スポットです。明瞭な青緑色、中程度円形状のスポットになります。



### 他の菌と黄色ブドウ球菌の発色スポット①

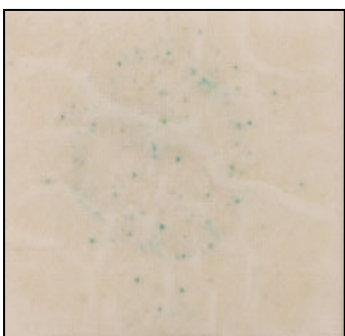
- ・左写真は24~26時間培養後の写真です。黄色ブドウ球菌らしきスポットのみ発色しています。
- ・右写真は更に6~16時間培養後の写真です。黄色ブドウ球菌以外の菌のスポットがマーキングした箇所以外に現れています。(培養時間が30時間以上になると黄色ブドウ球菌以外の菌のスポットが現れてくる可能性があります。)



### 他の菌と黄色ブドウ球菌の発色スポット②

マーキングした箇所が黄色ブドウ球菌の発色スポットです。

- ・左写真は24~26時間培養後の写真です。矢印の先に小さな青色の発色スポットが現れています(黄色ブドウ球菌以外の菌による発色スポット)。
- ・右写真は更に6~16時間培養後の写真です。矢印先の小さな青色のスポットは阻害剤の影響のためにほとんど成長しません。



### 他の菌の発色スポット

左写真は24~26時間培養後の写真です。多数の小さな青色の発色スポットが現れています。阻害剤の影響によりこれ以上スポットは大きくなりません。

### 試料由来による発色

右写真は生肉、生野菜など生ものを試料とした場合試料由来の酵素により5時間ほどの短時間で青色の着色が観察されます。希釈液により10倍程度希釈すれば、このような背景色の影響は軽減できます。